

＜学年の活動紹介＞

チャレンジ 1年生

「いろいろな動物とふれあいました！」

11日(火)に高田農業高校へ校外学習に行きました。農業高校には、エミュー、ヤギ、羊、牛、豚、ウサギ、鶏の7種類の動物がいます。高校の先生から「この高校で飼っている動物は、人間が食べる動物です。命をもらっているのだから、食べる前にいただきますと言うのだよ」と教えてもらいました。初めて知ることばかりで、歓声をあげて子どもたちはお話を聞いていました。その後は、動物をなでたりえさをあげたり、動物との交流を楽しみました。



学校に帰ってきてから、分かったことや感じたことを振り返りました。「牛の鼻が濡れていてびっくりした。」「どうして牛は大きいのかな。」「エミューのたまごは、つつつつしていて気持ちよかった。」など、自分の気付きや考えを文にまとめました。

おおぞら 2年生

「たんけん～じゃぶじゃぶ公園☆第三公園～」

18日(火)に、子どもたちが大好きな公園に探検に行きました。じゃぶじゃぶ公園や第三公園では、バッタなどの生き物を見つけたり、シロツメクサでかんむりを作ったり、遊具で遊んだりしました。小さな実やありの大群なども見つけました。子どもたちは目をきらきら輝かせて、楽しそうに活動していました。子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。

今回の探検でも、たくさんの発見があったようです。子どもたちが発見したことを生活科の学習でまとめていきます。



つばさ 3年生

「ふるさと発見！つばさ探検隊 あらいを歩く」

5月31日(金)に六十市でインタビュー活動を行いました。売る人も買う人もみんなにこやかに明るく、多くの方から子どもたちの質問に親切に対応してもらいました。買い物体験では、新鮮な物をお安くしてくれるお店もありました。

6月4日(火)はバスで移動しました。道の駅では、新井・妙高の特産品が並んでいました。お食事処もたくさん。くびきの情報館に入ったら、この道の駅を訪れる人たちは、日本各地どころか、世界各地から来ていることが分かりました。

きれいで広いロッテアライリゾート。ホテルの方々のご厚意で、各施設を案内していただいたうえに、ボルダリングとトランポリンを体験させてもらいました。

総合的な学習の時間では、これらの活動をもとに、ふるさとのよさについて考えていきます。



スクールカウンセラー等学校派遣事業のお知らせ→次ページへ続く

今年度も専門のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが来校し、子どもや保護者の悩みを聞いたり、相談を受けたりしています。是非ご活用いただきたいと思ひます。

かがやき 4年生

「森のおくりものってすごい！」

妙高市では、4年生の子どもたちを中心に、「みどりの学習」と題して身近な森林について学んだり森林のよさを体感したりすることを目的とした学習に取り組んでいます。

11日(火)に、上越森林管理署の方に来校していただき、森林の働きについて学びました。まずは、森林には酸素を作る・水を貯める・災害を防ぐ・生き物のすみかになる等多くの働きがあること、森林は人間の生活に大切なものであることを学びました。また、森を育てるには、草刈りや間伐など多くの手入れが必要であることも学びました。後半は、かえでの種子をもとにした「ロケットリーフ」を作り、実際にグラウンドで飛ばしてみました。くるくると落ちるロケットリーフに「すごい！」と歓声を上げながら、楽しく活動しました。

今後、総合的な学習の時間の体験とつなげて、さらに学びを深めていきます。



にじいろ 5年生

「世界で一つだけの作品」

12日(水)にPTC親子陶芸教室を開催しました。妙高市在住の村越さんを講師にお招きして、じっくり製作に取り組みました。

活動の様子、振り返りの作文から、陶芸、そして親子での活動を楽しんだことが伝わってきました。どの作品も創意工夫にあふれていて、作業後はお互いの作品を見るのが楽しかったようです。焼き上がりが楽しみです。



たいよう 6年生

「確かな成長を魅せた5日間！」

家族と5日間も離れて過ごしたフレンドスクール(6/17~6/21)。初めて会う他校の仲間と過ごしました。

友達と関わる中、お互いに素が出始めると、大小かわかわらず、揉めている様子も見られました。揉めることは悪いことではありません。その時、その後どうするかが、まさに今回のフレンドスクールで求められている「人とかかわる力」なのです。

体力的にも精神的にも日を重ねるごとに堪えている様子が分かる中、家族からの手紙をじっくりと読んでいる子ども達の何とも言えない表情は、見守っている担任もぐっとくるものがありました。きっと家族のことを思い浮かべていたのでしょう。改めて自分が大切にされていること、家族への感謝の思いをもったはずです。子どもたちにとっては、過酷な5日間だったかもしれませんが、きっとこれからの日々に活かしていくことと思います。



相談希望される方は、日程を相談させていただきますので、いつでも担任または生活指導主任の月岡にお知らせください。

(新井小学校 72-2612)

■スクールカウンセラー 小林久美子さん

■スクールソーシャルワーカー 小嶋久美子さん 渡辺広大さん 栗田きよ子さん

よりよい人間関係をめざして

新井小学校では、人と人のかかわりの中で、一人一人のよさや違いを認め合い、自分も相手も大事にできる子を育てていきたいと考えています。そのために、「我慢する心と力を身に付け、相手や周りの気持ちを考え、よりよく行動できる子」や「つらいことや苦しいことに対しても、仲間と支え合い、ねばり強く取り組む子」を目指していきます。

そこで、今年も友達と協力したり、よさを発揮したりする活動を積極的に取り入れ、自分も相手も大事にできる子を育てていきます。また、年間を通してあいさつ運動にも取り組みますので、保護者の皆様からも子どもの成長を見守り、応援していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



<なかよしはじめまして集会>



<元気なあいさつ>

『いじめ見逃しゼロ週間』の取組

新潟県では、「いじめ見逃しゼロ県民運動」として、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守るとともに、社会性を育てるための様々な取組を行っています。

新井小学校でも5月29日(水)～6月5日(水)の1週間で『いじめ見逃しゼロ週間』として、いじめのない明るい学校を目指してイエローリボン運動に取り組みました。

この時期になると、子どもたちは新しい学年やクラスにも慣れ、緊張もほぐれてきた反面、学習や生活、友達との関係で悩んだりすることがあります。そこで、子どもたちの人間関係や悩みなどを把握するために学校生活アンケートを行い、一人一人の子どもたちと教育相談を行いました。また、いじめ見逃しゼロをテーマにした標語づくりや全校SSE、ふれあい給食などを実施し、いじめについて話し合ったり、気持ちよく生活するための人のかかわり方を学んだりしました。今回は全校SSEの取組を紹介します。

全校SSE～気持ちのよいあいさつをしよう～

5月30日(木)に全校SSE(ソーシャルスキル)を行いました。子どもたちには、「友達と仲良しになる」「みんなと気持ちよくすごす」ためにソーシャルスキルの勉強は大事だという話をしました。そして、第1回目は「気持ちのよいあいさつ」について学習しました。あいさつは、『相手の存在を認め、大切にすること』で、相手に聞こえないあいさつやあいさつを返さないことは、相手の存在を軽く考えていることに繋がります。

今回のSSEでは、「聞こえる声で」「相手の目を見て」「自分から元気よく」を身に付けたいスキルとしました。子どもたちのあいさつは、学校内ではずいぶんよくなりましたが、時と場に応じたあいさつは、まだ十分とは言えません。ご家庭や地域の皆様からも協力していただき、子どもたちへの声掛けや明るいあいさつをお願いいたします。



みんなのあいさつは元気がよくて気持ちがいいね!



劇を見た感想は? 『は～い!』



お子 づお子 できる子

新井小学校たより 6月号

令和元年6月26日

HPアドレス <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

水泳学習の意義とは？

校長 宮野 正則

新井小学校では、運動会が終了した翌週、5月28日（火）から妙高市のスポーツ施設である「水夢ランドあらい」を利用して水泳学習を始めました。多くの小学校は屋外プールですので、6月から水泳学習を行うのが一般的です。

水泳学習は学習指導要領に定められていることはもちろんですが、私は体育学習として技能や体力等の向上を図るとともに、心身を鍛える上で教育効果は大きいと考えています。その理由は、以下の3点です。



1点目は、克服したときの達成感が大きいことです。水泳は水の中の運動です。呼吸ができない、音が聞こえないなど、非日常的で過酷な環境の中で行います。そのため、初心者にとっては大きな恐怖感があります。しかし、水の中で目が開けられた、水に浮くことができた、5メートル泳げた、息継ぎをしながら25メートル泳ぎきったなど、やり遂げたときの達成感は非常に大きいです。辛いことや苦しみもありますが、克服が大きな自信となり、挑戦意欲が向上します。

2点目は、命を守ることです。人間は、学習しないと泳ぐことができない動物です。万が一川に落ちた、湖でボートが転覆したなど、水難事故に遭遇するかもしれません。そうしたときに、泳ぐことができれば、命を守る可能性はぐんと高まります。

3点目は、体を丈夫にすることです。皮膚を刺激することで、血流が良くなり、免疫力がアップします。呼吸をしながら運動することによって心肺機能も高まります。水に浮くことで身体に余分な負担がかからない上、全身運動ですので、効率よくカロリーを消費できます。ダイエットにも有効です。

このように、水泳は暑さを逃れ、心身を鍛える上で、とても有効な運動であると考えています。

当校は、プール設備がないため、室内のオールシーズンプールである「水夢ランドあらい」を利用させていただいています。利用する時間や回数が限られているという制約はありますが、その反面、水深の浅い幼児用プールが併設されているため、低学年は恐怖感をもたずに水の中を走ったりもぐったりできます。また、プールフロアも多数ありますので水深を容易にコントロールでき、子どもたちは深いプールでも安心して泳いでいます。何よりも天候や水温等により実施の可否を判断する必要がなく、計画通りに水泳学習を実施できます。

今シーズンも、一人一人がめあてを立て、それに向かって練習に励み、泳力が向上することを期待しています。その過程で、努力し続けることの大切さ、教え合うことや励まし合うことのすばらしさを実感するであろうと確信しています。